

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは コーポレートコミュニケーション部

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 FAX 075-312-0493 <https://www.gs-yuasa.com/jp>

2023 年 2 月 9 日

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー

GSユアサが開発した専用電池が H3 ロケットに搭載

GSユアサグループの株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー（社長：並河 芳昭、本社：京都府福知山市。以下、GYT）が開発・製造した電池が、三菱重工業株式会社（社長：泉澤 清次、本社：東京都千代田区。以下、MHI）殿と国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（理事長：山川 宏、本社：東京都調布市。以下、JAXA）殿により開発されたH3ロケット試験機 1 号機に搭載され、種子島宇宙センターから2月中旬に打ち上げられる予定です。

H3ロケットは、我が国が宇宙への輸送手段を持ち続けるために、現在の基幹ロケットH-IIA/H-IIBロケットの後継機として、利用者視点で「使いやすさ」を追求し開発が進められてきた次世代の大型ロケットです。GYTは、試験機 1 号機への搭載に向けて2016年からH3ロケット向けに2種類のリチウムイオン電池と熱電池の開発を開始し、2020年にMHIへ納入しました。リチウムイオン電池は同ロケットの計測機器などに、熱電池は姿勢制御系機器などに電力を供給します。

また、試験機 1 号機で打ち上げられる先進光学衛星「だいち 3 号」(ALOS-3)※¹にもGYT製の宇宙用リチウムイオン電池※²が搭載されており、人工衛星が地球の陰に入ると太陽光による発電ができない期間に、電力を供給します。

GYT は 1970 年代の日本の宇宙開発草創期より宇宙用電池を開発・供給しており、以降、現在まで酸化銀亜鉛電池、熱電池、リチウムイオン電池などの当社製品が日本の固体燃料ロケット・液体燃料ロケット、国内外の人工衛星に搭載されるなど、宇宙開発事業に寄与してきました。

今後も最高水準の性能・品質を持つ製品を、社会インフラ構築に重要な役割を果たす人工衛星と、人工衛星を輸送するロケットに搭載することにより、社会の発展に貢献してまいります。

※1 JAXA ウェブサイトを参照ください。

https://www.jaxa.jp/projects/sat/alos3/index_j.html

※2 JAXA から委託を受けて開発し JAXA コンポーネント（JAXA 研究開発部門が人工衛星に共通に使用される搭載コンポーネントやデバイスを開発し、JAXA データベースに登録・開示する制度）に登録されている高性能宇宙用リチウムイオン電池です。「だいち 3 号」の製造元である三菱電機株式会社（執行役社長：漆間 啓、本社：東京都千代田区）殿に採用いただきました。

【写真】

1. H3 ロケット

(提供：JAXA)



2. H3 ロケット専用リチウムイオン電池



3. 先進光学衛星「だいち 3 号」 (提供：JAXA)



4. 宇宙用リチウムイオン電池 (セル)



[この件に関するお客様からのお問い合わせ先]

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー 営業部 TEL 03-5402-5867

[この件に関する報道関係からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ コーポレートコミュニケーション部 TEL 075-312-1214